

フローチャート練習問題

- 問題 1. 支給額計算①
- 問題 2. 支給額計算②
- 問題 3. 項目チェック
- 問題 4. 日付妥当性判定
- 問題 5. 奇遇の判定
- 問題 6. 合計を取る
- 問題 7. 給与支給表①
- 問題 8. 昇順チェック
- 問題 9. 給与支給表②
- 問題 10. マージ 1:1
- 問題 11. マージ N:N
- 問題 12. マージ&コントロールブレイク
- 問題 13. テーブルサーチ
- 問題 14. メモリーSORT

問題 1. 支給額計算①

社員コード	氏名	基本給	日数	社員区分	
-------	----	-----	----	------	--

社員区分=0(社長の時) 役職手当=1,000,000
社員区分=1(部長の時) 役職手当= 500,000
社員区分=2(課長の時) 役職手当= 300,000
社員区分=3(係長の時) 役職手当= 100,000
社員区分=4(社員の時) 役職手当= 0
社員区分=5(パートの時) 役職手当= 0

上記データを読み、社員コード、氏名、支給額を出力する。

パート以外は、基本給+役職手当を支給額とし、パートは、基本給欄に日給が入っているので日給×日数を支給額とする。

問題 2. 支給額計算②

社員 コード	氏 名	基 本 給	扶 養 人 数	
-----------	--------	-------------	------------------	--

扶養人数1人目 10,000円
扶養人数2人目 5,000円
扶養人数3人目 3,000円
扶養人数4人目以降毎に 2,000円

上記データを読み、支給額を計算し、社員コード、氏名、支給額を出力する。

支給額 = 基本給 + 扶養手当

問題 3. 項目チェック

社員 コード	氏 名	社員 区分	配 偶 者 有 無	勤 労 学 生	寡 婦 ・ 夫	未 成 年 者	老 年 者
-----------	--------	----------	-----------------------	------------------	------------------	------------------	-------------

社員区分	0~5	以外エラー
配偶者有無	0, 1, 2	以外エラー
勤労学生	0, 1	以外エラー
寡婦・夫	0, 1, 2	以外エラー
未成年者	0, 1	以外エラー
老年者	0, 1	以外エラー

- 1) 上記データを読み各項目のチェックを行い、いずれか1つでもエラーの時は社員コードとERR それ以外は社員コードとOKを出力する。
- 2) 上記データを読み各項目のチェックを行い、全項目がエラーの時は、社員コードとERR それ以外は社員コードとOKを出力する。

問題 4. 日付妥当性判定

社員 コード	氏 名	入社年月日			
		西暦年	月	日	

上記データを読み、入社年月日の妥当性をチェックし、社員コード、氏名、入社年月日と入社年月日が誤っていればERR、正しければOKを出力する。
(閏年考慮の事)

問題 5. 奇遇の判定

社員 コード	氏 名	入社年月日			
		西暦年	月	日	

上記データを読み、データレコードNo.が奇数レコードであれば奇数、偶数レコードであれば偶数という文字を出力する。

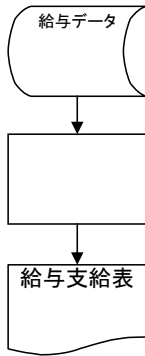
問題 6. 合計を取る

社員 コード	基本 給	
-----------	---------	--

上記データを読み、基本給の全社員合計を計算し出力する。

問題 7. 給与支給表①

部 課 コ ー ド	社 員 コ ー ド	基 本 給	諸 手 当	残 業 手 当	
-----------------------	-----------------------	-------------	-------------	------------------	--



*** 給与支給表 ***						ページ 29
部課	社員	基本給	諸手当	残業手当	総支給額	
99	99999	2,222,229	2,222,229	2,222,229	2,222,229	
総合計		22,222,229	2,222,229	2,222,229	2,222,229	

給与データを読み給与支給表を出力する。

- 1) 明細行 総支給額=基本給+諸手当+残業手当
- 2) 総合計 各項目の全社員合計を取る
- 3) 1頁には明細行を60行出力するものとし、60行を超えると頁を換える。頁は1からカウントする。

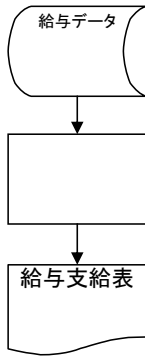
問題 8. 昇順チェック

社員 コード	
-----------	--

上記データは、本来社員番号の小さい人から大きい人に昇順に並んでいなければならない。そこで、このデータを読み確かに昇順になっているかを調べ、もし小から大になっていなければ、小になったカードをエラーとし社員番号とERRを出力し、昇順になっているデータは、何も出力しない。(尚、エラーとなった社員番号は昇順チェックの対称としない)

問題 9. 給与支給表②

部 課 コ ー ド	社 員 コ ー ド	基 本 給	諸 手 当	残 業 手 当	
-----------------------	-----------------------	-------------	-------------	------------------	--

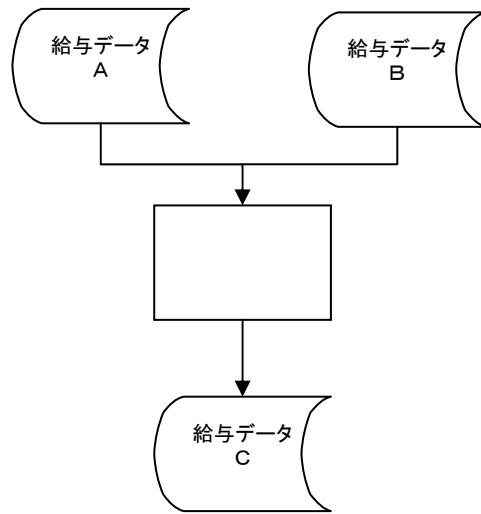


*** 給与支給表 ***						ページ 29
部課	社員	基本給	諸手当	残業手当	総支給額	
99	99999	2,222,229	2,222,229	2,222,229	2,222,229	
部課計		22,222,229	2,222,229	2,222,229	2,222,229	
総合計		22,222,229	2,222,229	2,222,229	2,222,229	

部課コード、社員コードで分類されている給与データを読み給与支給表を出力する。

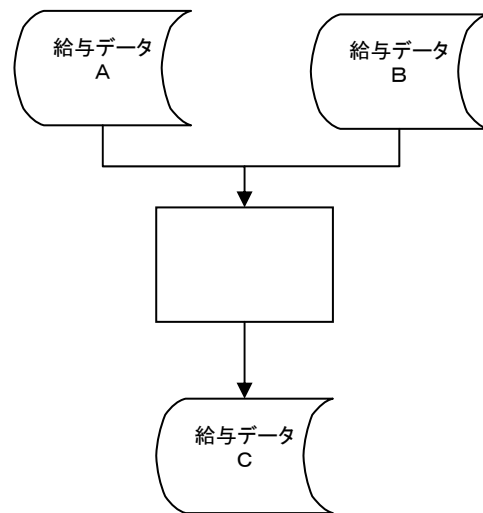
- 1) 明細行 総支給額=基本給+諸手当+残業手当
- 2) 部課計 各項目の同一部課内の合計を取る
- 3) 総合計 各項目の全社員合計を取る
- 4) 1頁には明細行を60行出力するものとし、60行を超えると頁を換える。頁は1からカウントする。

問題 10. マージ 1:1



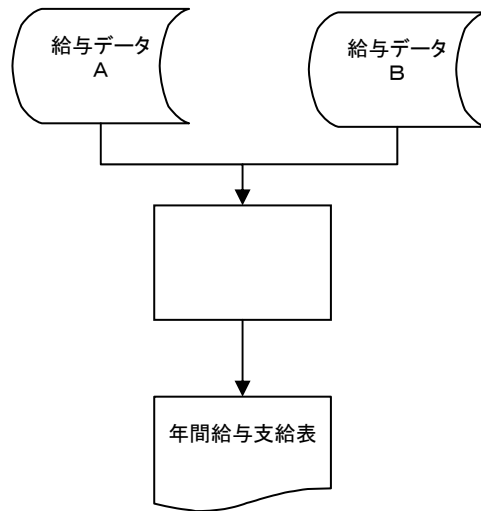
社員コードで分類されている給与データAと給与データBをマージして、給与データCを作成する。給与データA・B共に同じ社員コードは無いものとする。

問題 11. マージ N:N



社員コードで分類されている給与データAと給与データBをマージして、給与データCを作成する。給与データA・B共に同一社員コードがN件有るものとする。

問題 12. マージ&コントロールブレイク



給与データA・B共に、部課コード>社員コードで分類されており、給与データAはn月締め分のファイルで、給与データBは1月～n-1月締め分のファイルである。

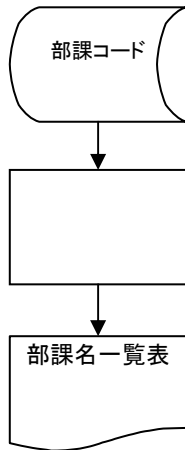
両ファイルを部課コード・社員コードをKEYとしてマージし、1月～n月締迄の合計表を作成する。

社員コードブレイクで1～n月の合計を出力し、部課コードブレイクで部課計を出力し、EOFで総合計を出力する。

(給与データA・B、年間給与支給表のフォーマットは問題9を参照)

問題 13. テーブルサーチ

部 課 コ ー ド	
-----------------------	--



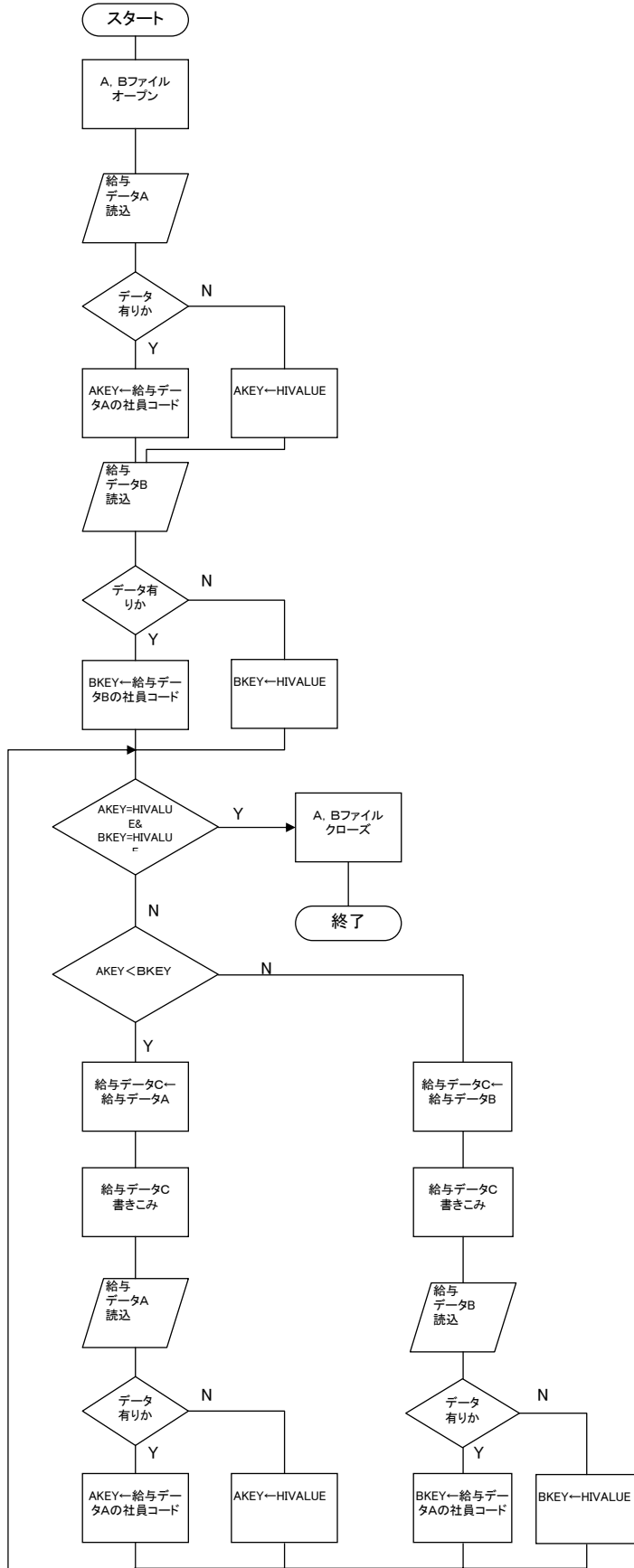
部課名テーブル

部課コード	部課名
01	総務
02	経理
03	人事
05	教育
09	工事
12	システム
13	企画
15	調査
17	資料室
18	研究室
20	営業

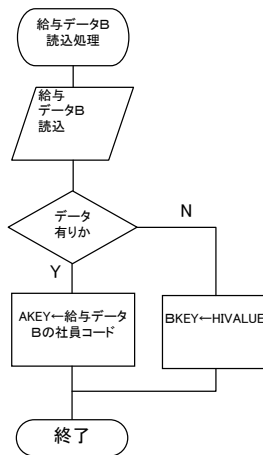
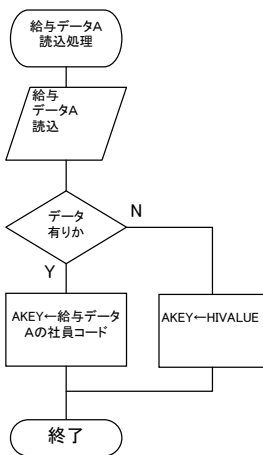
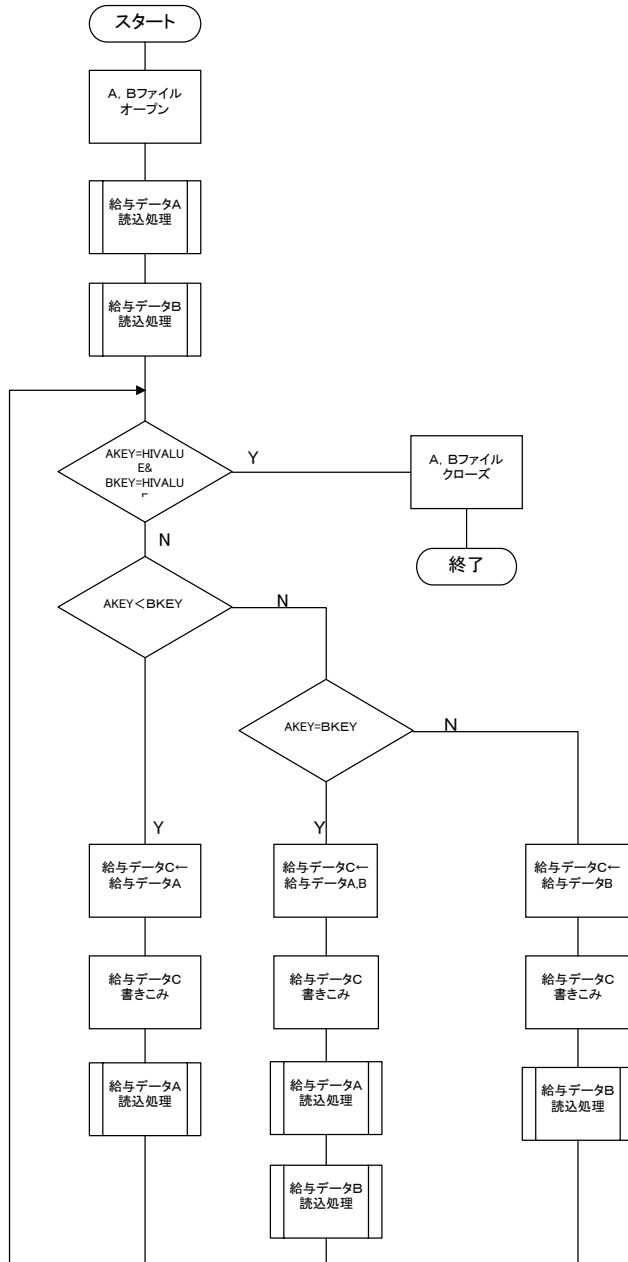
部課コードを読み対応する部課名を部課名テーブルより探し出力する。

部課名テーブルに無い部課コードはエラーとし部課コードとERRを出力する。

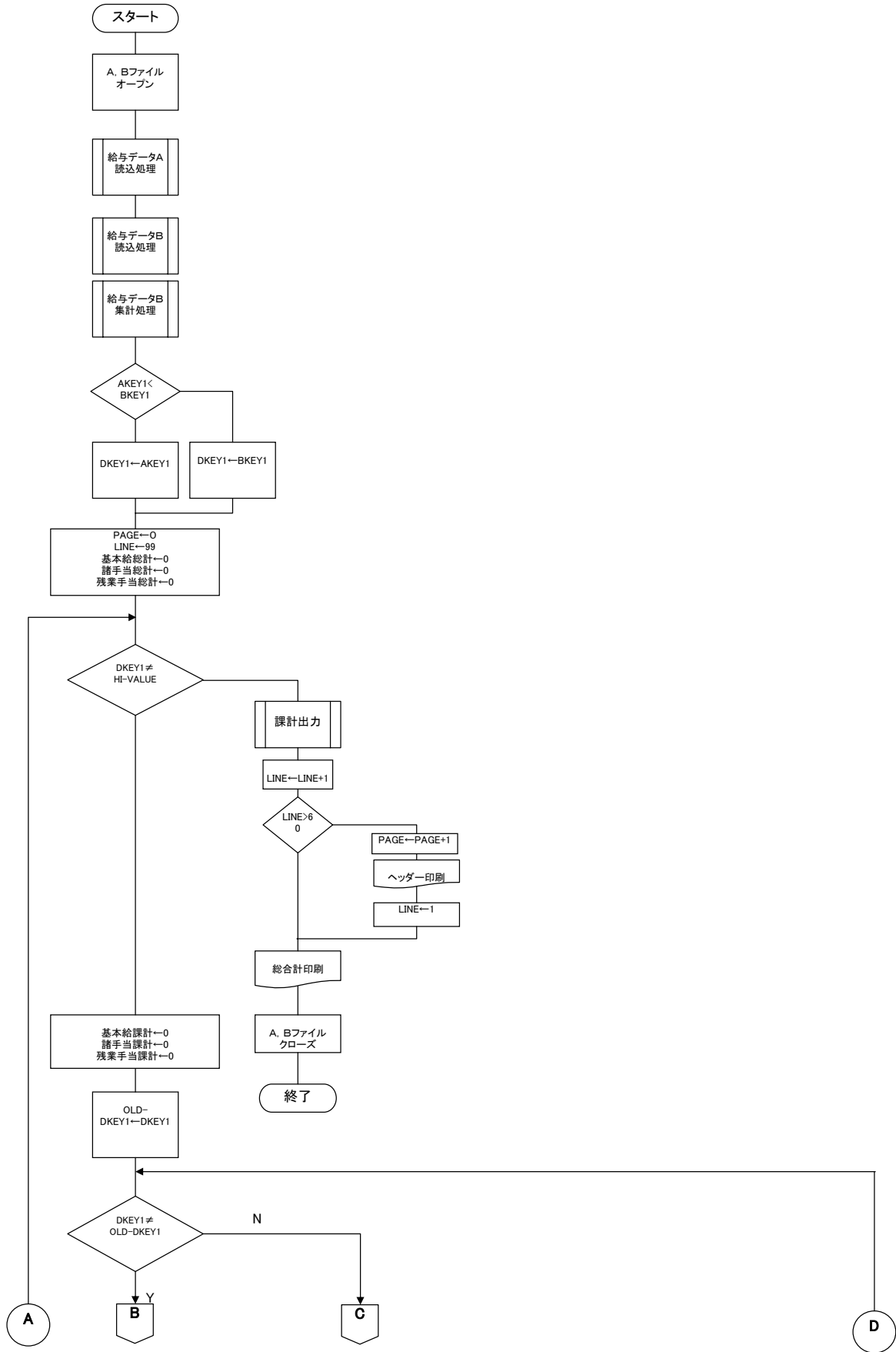
問題10.

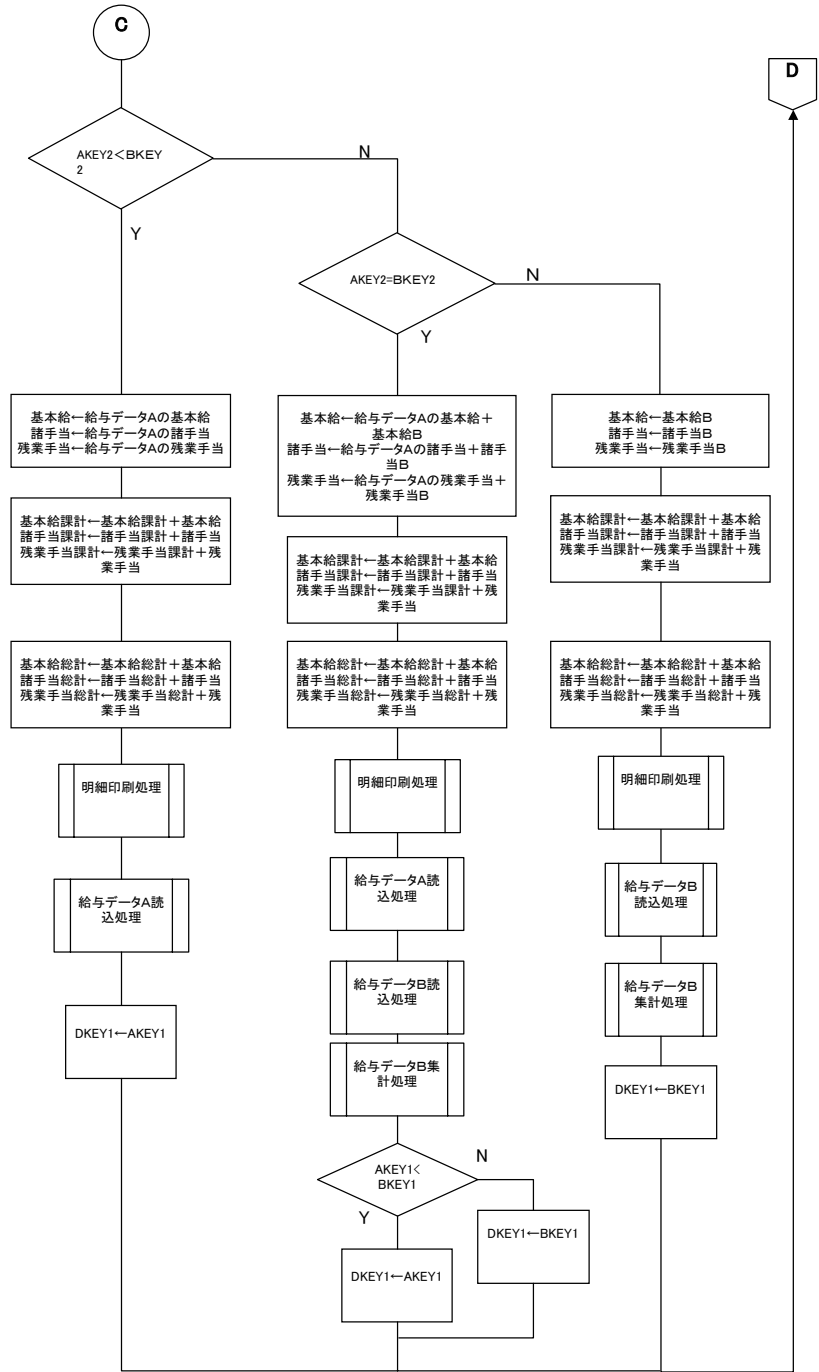
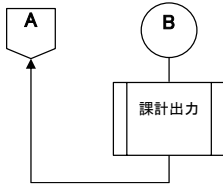


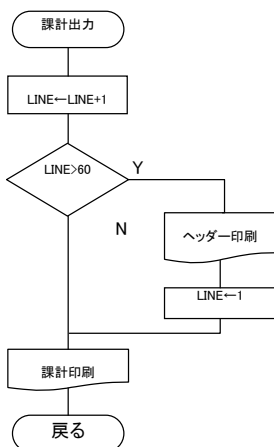
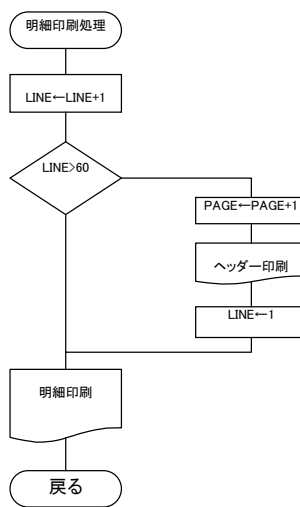
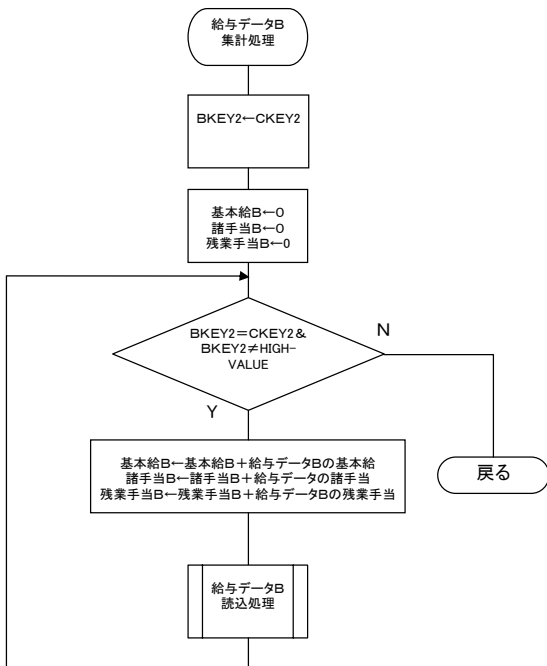
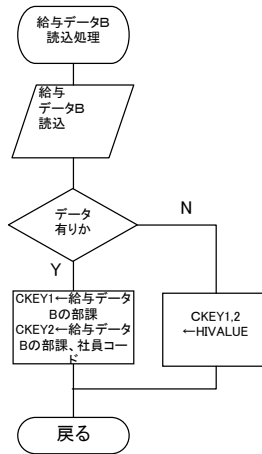
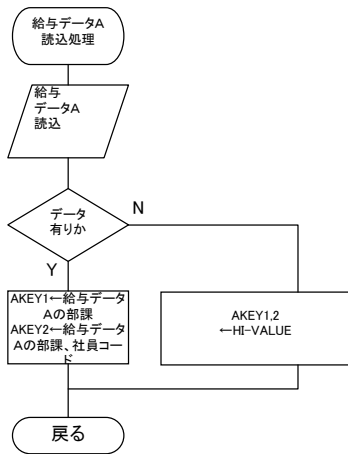
問題11.



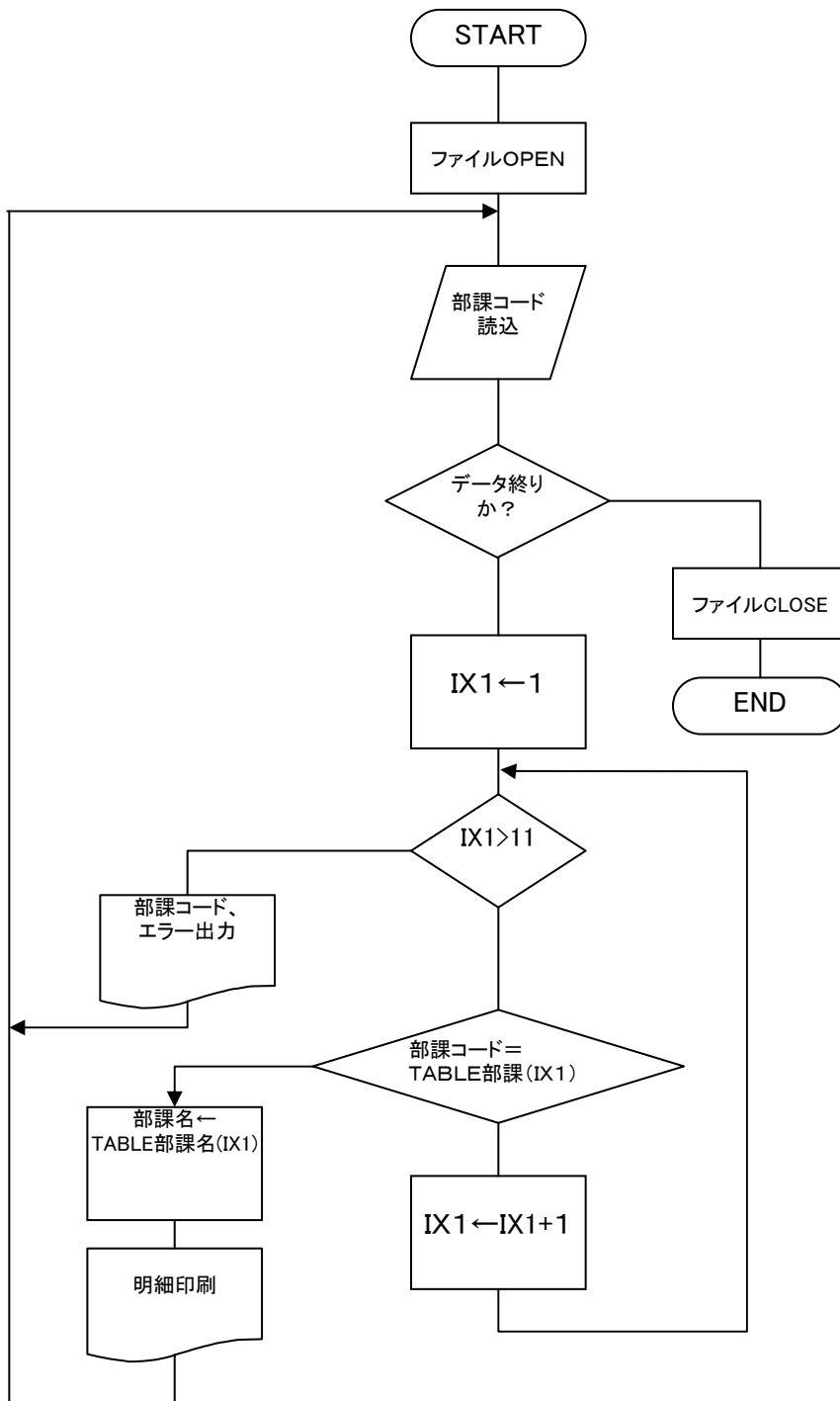
問題12.







問題13.



問題14.

